

(1) 1級水系流域治水プロジェクトに基づく 各種対策のフォローアップについて

※各構成員にて今年度実施いただいた取り組み内容及び次年度以降の取り組み内容の御報告と各種対策の代表事例をご紹介させていただきます。

夕張川上流地域部会

- ・夕張市、由仁町、栗山町
- ・札幌管区气象台
- ・空知森林管理署
- ・北海道水源林整備事務所
- ・空知総合振興局
- ・胆振総合振興局
- ・札幌開発建設部

夕張市、由仁町、栗山町

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水防訓練及び住民避難	

実施主体：夕張市

■令和7年度 取組内容

- ・ 水防訓練及び住民避難訓練～地震と台風による大雨の影響で河川の増水と土砂災害発生の危険があるという想定で市・消防本部(署)・消防団・警察と連携し災害対応能力向上を図った。



次年度においても実施予定地区に対して住民避難訓練及び水防訓練を行い、災害対応能力向上を図る。

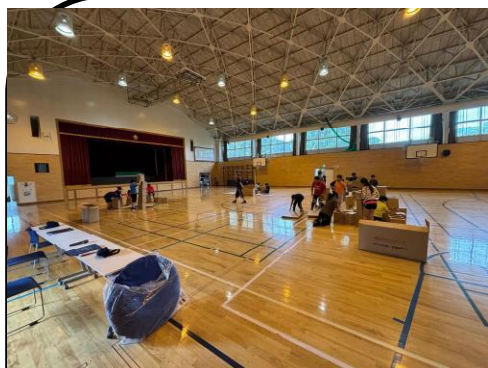
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：夕張市

■令和7年度 取組内容

- ・ 小学校(学年別防災教室)、中学校(防災備蓄品の学習、HUGについての理解及び体験)、高校(HUGの体験)を実施。
- ・ 毎年継続して各町内会(20組織)に対し、防災講話と発電機等の取扱い説明を行い、地域住民の防災知識の向上、地域防災力向上に努めている。



次年度以降も防災教室及び防災講話や発電機の取扱い等を継続し防災意識の向上を図っていく。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
対策内容	関係自治体との水被害リスク情報の共有・検討	

実施主体：由仁町

令和7年度 取組内容

- ・ 災害対策本部設置訓練を実施し、災害対処要領の検討など、警察、消防、自衛隊等各関係機関との連携の強化を図ることができた。
- ・ また、職員を対象に避難所開設・運営訓練を実施し、災害発生時における円滑な避難所開設・運営に資することができた。



由仁町災害対策本部員会議実施状況



避難所を開設する町職員

次年度は、訓練実施課目を精選するとともに、実際的な訓練となるよう各関係機関と密接に調整し、防災総合訓練を計画（予定）する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	由仁中学校防災教室を実施	

実施主体：由仁町

■令和7年度 取組内容

・全校生徒を対象に、防災講話、応急担架の作成、パーテーション及び段ボールベット作成等について、栗山警察署(員)と町職員による防災教育を実施して、防災に関する意識の高揚を図ることができた。



防災教室を実施する栗山警察署員及び町職員

未来を担う子どもたちは、将来起こりうる自然災害に対しての正しい知識を持ち、自ら考えて判断し、危険から身を守る行動をとる必要があります。

次年度以降も小・中学生を対象とした防災教室を継続して実施していきたい。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：栗山町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	河川氾濫時の避難行動の確認	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	避難経路や避難場所の選定、避難時の注意点を確認、効果的な避難行動を習得。	

■令和7年度 取組内容

・令和7年度においては、北海道主催の「北海道地域防災マスター認定研修」を開催し、札幌管区気象台ご指導の下、町内の川が氾濫した想定での避難行動に関するワークショップを実施。

◆班ごとに居住地・家族構成等を設定し、「これから大雨になる」という情報を受けて、どのようなタイムスケジュールで避難するべきか話し合うワークショップを実施



◆ワークショップ後半に発表を行い、他班の避難行動の違いや参考になる点を学び、適切な避難行動の確認を行った。



次年度に向けた予定 など

◆河川の洪水を想定した防災訓練、防災教育の実施

札幌管区气象台

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区气象台
(夕張川上流地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をとした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・ 空知総合振興局及び関係する全3市町（夕張市・由仁町・栗山町）と、個別の懇談を実施した。
 - ・ 空知地方防災担当者会議において市町防災担当職員等を対象とした「気象防災ワークショップ」を実施した。
 - ・ 北海道が主催し栗山町で開催する北海道地域防災マスター研修会において、気象庁ワークショップを実施した。
 - ・ 气象台訓練において、市町長と气象台幹部のホットライン訓練を実施した（夕張市・栗山町）。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・ 大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・ 電話による自治体等からの問合せに対して、のべ13回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区气象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・ 講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・ 地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・ 市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・ 関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・ 令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・ これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・ これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・ 事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

空知森林管理署

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知
森林管理署
(夕張川部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、山本左の沢治山工事(溪間工2基)を実施し「流域治水」の推進を図った。
なお、工事については現在施行中であり、工期は令和8年3月16日までとなっている。

実施前



実施中



次年度に向けた予定 など
清栄の沢治山工事(溪間工2基予定)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知
森林管理署
(夕張川部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、2410林班3号沢治山工事(溪間工1基)を実施し「流域治水」の推進を図った。
なお、工事については現在施行中であり、工期は令和8年3月16日までとなっている。

実施前



実施中



次年度に向けた予定 など
2410林班3号沢治山工事(溪間工1基予定)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	下刈・つる切による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(夕張川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

つる切実施前



つる切実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	下刈・つる切による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(夕張川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

下刈実施前

下刈実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

空知総合振興局 産業振興部

・整備課

・南部耕地出張所

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	排水路の整備や田んぼダムの取り組み	

実施主体：空知総合振興局整備課

(千歳川外、夕張川上流、幾春別川外、雨竜川外、空知川) 共通

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を実施

農業用水利施設(排水路)の整備



田んぼの整備



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を推進

空知総合振興局 産業振興部
・林務課

胆振総合振興局
・森林室

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山地災害から流域を守る治山対策 ・森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備 	

実施主体：北海道空知
総合振興局産業振興部
林務課

(夕張川上流地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・夕張市において試験農園地先緊急予防治山工事を実施
- ・夕張市、由仁町、栗山町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

試験農園地先緊急予防治山工事【夕張市】



森林整備事業(植栽)【栗山町】



■次年度以降の取り組み(予定)

- ・要望のあった市町において治山事業や森林整備事業(間伐・植栽等)を実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策及び森林整備	

実施主体：北海道
胆振総合振興局

(夕張川上流地域
部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、由仁町川端で保育工事(下刈り)を実施、各市町で森林整備事業(間伐、植栽等)を継続的に実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



次年度以降も森林整備事業については継続的に実施。また、森林の荒廃状況や市町からの要望により計画的に事業を実施。

空知総合振興局
札幌建設管理部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	堤防整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(夕張川上流地域
部会)

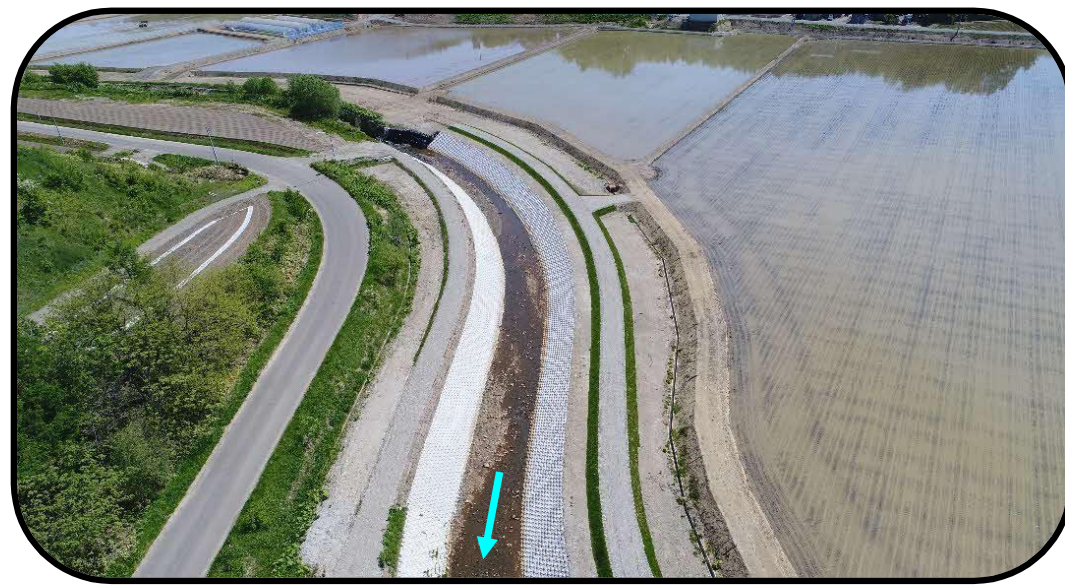
令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた雨煙別川、阿野呂川の河道掘削を実施し「流域治水」の推進を図った。

雨煙別川(実施後)



阿野呂川(実施後)



次年度に向けた予定 など

- 次年度以降も引き続き、継続実施している雨煙別川等の河道掘削等を実施する。

札幌開発建設部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	水災害から流域を守る治水対策	

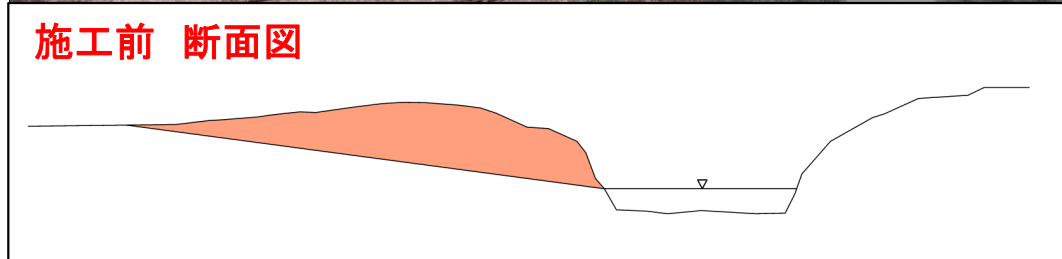
令和7年度 取組内容

- R7年度においては、夕張川流域の河道掘削を実施し、「減災対策」「流域治水」の推進を図った。

実施前



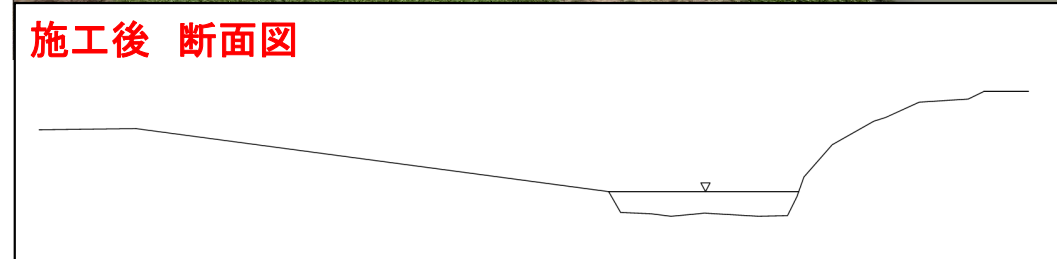
施工前 断面図



実施後



施工後 断面図



次年度に向けた予定
引き続き令和7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災意識の構築に向けた啓発活動	

令和7年度 取組内容

河川事務所職員が「石狩川の治水の歴史」について、講習会にて地域住民約25名に対し説明を行った。過去に石狩川で起きた洪水状況や千歳川の堤防整備、幌向自然再生事業、今後の流域治水の計画についてなどを紹介し、歴史について学びを深めることができた。



講習会の様子

45 江別市周辺の洪水被害状況 45

※基図は石狩川下流浸水想定区域図から抜粋



講習会時に説明した資料の一部

次年度に向けた予定 依頼があれば実施。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	関係自治体との水被害リスク情報の共有・検討	

■令和7年度 取組内容

- ・江別河川事務所では、石狩川・千歳川・夕張川、幌向川の重要水防箇所の合同巡視を関係自治体と毎年実施しており、首長はじめ関係者が危険箇所等の把握と、出水時の体制・河川情報ツールの確認等を行っている。
- ・今年度は重要水防箇所の水防上特に注意を要する場所を巡視を行い、整備の進捗状況を確認しながら、リスク情報・知見の共有を図った。



南幌町



岩見沢市



栗山町



江別市



由仁町

次年度に向けた予定 引き続き令和7年度の取組を継続実施。